

第624回

## I B C番組審議会 議事録

－ 議 題 －

日本のチカラ

たくましき三陸マーメイド

平成29年10月25日（水）

（株）I B C 岩手放送

## 第624回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成29年10月25日(水) 午前11時
2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール
3. 委員の出席
- |         |               |
|---------|---------------|
| 委員総数    | 10名           |
| 出席委員    | 8名            |
| 出席委員の氏名 |               |
| 委員長     | 田代 高章         |
| 副委員長    | 熊谷 志衣子        |
| 委員      | 岩田 圭司 龍澤 尚孝   |
|         | 宮 順子 小松 務     |
|         | 畠山 俊彰 村井 康典   |
| 欠席委員の氏名 | 澤口 たまみ 栗田 均   |
| 会社側の出席  |               |
| 鎌田 英樹   | 代表取締役社長       |
| 武田 敏哉   | 取締役放送本部長      |
| 黒澤 秀之   | 取締役営業本部長      |
| 中島 勝志   | 報道局長          |
| 堀米 道太郎  | テレビ制作部長       |
| 鹿野 真源   | テレビ制作部・ディレクター |
| 萩原 康弘   | テレビ編成部副部長     |
| 事務局     |               |
| 若槻 修    | 番組審議会事務局長     |
| 平澤 泰志   | 番組審議会事務局員     |
4. 議 題 日本の子カラ「たくましき三陸マーメイド」

## 5. 議事の概要

### <委員の主な発言>

- 「あまちゃん」のブームの後に焦点を当てながら、特徴のある地域の情報や地域力をサラリと全国に発信できた良い番組。北限の海女をテーマとして、東京から移住してきた25歳の観光海女と、地元の63歳の本気採りの海女を対比して、それぞれの生き方とか、生活は違うけどどちらも北限の海女として地域の力になっていることがよく伝わった番組。
- 久慈の小袖海岸の海女さんの状況や観光客が減ってきたという推移は見られたが、実際生計は成り立っているのか等、もっと掘り下げて良かった。
- 水中カメラの映像が随分あって、手間がかかっているという気がした一方、登場人物が多すぎて、関係がよくわからない部分があった。観光用の海女も本気採りの海女も伝統や文化を残していきたいのか、どういう意味で取り上げているのかよくわからなかった。いい素材なのだが、なかなか訴えるものが見えず引き込まれなかった。
- 観光海女と本気採りの海女の2種類あることを初めて知って、大変楽しく見た。観光海女の明るいキャラクターが生きていた。特にエンディングが良かった。「孫たちのために来年も潜ることを決めたよ」「守っていくのが使命感」というような海女の姿のエンディングが特に良かった。
- 「地域おこし協力隊」だけで改めて番組を作ってもいいのかなど。県内各地に地域おこし協力隊があり、県外から来た方々が活躍されている。その人たちは、地元の人よりもその土地を愛している部分もあると思うので、そういう方々だけの特集を機会があれば作っていただきたい。
- 厳しい漁をしてウニを8キロも採って、それをたった3キロだけ売りに出してあとは持ち帰った。そしてそれを自分の孫たちに振る舞って、その顔を見ながら満足げにしている様子を見て、久慈の高齢者の方々はこうして子どもたちに喜んでもらいながら頑張っている地方なんだということが全国に伝わった。久慈の女は強い、頑張っているという印象だった。